

2026伊豆半島ジオ検定3級 正答と解説

問題	正答	解説
Q1	A.13度前後	太平洋に突き出た伊豆半島の天城山では、年間4000mmを超える雨が降ります。降った雨は水を通しやすい土壌を通り、古い時代の水を通しにくい地層との間を流れて湧水になります。湧水は地下を通る間に天城山麓の平均気温である約13～14度になります。
Q2	B.黒曜石	柏峠周辺は、直径500メートルほどの流紋岩の溶岩ドームで、その一部が黒曜石になっています。ガラスと同じように割れる性質があるため、割ると非常に鋭い切り口(破片)ができます。そのため、縄文時代の人々は、狩猟に使う矢じりや、獲物を解体するナイフ(石器)の材料として重宝されていました。
Q3	D約2年間	伊豆急行(伊東～伊豆急下田間)の建設工事にかかった期間は、2年足らず(約1年11ヶ月)でした。1960年(昭和35年)1月22日に起工式を行い着工され、数々の難工事を乗り越えて1961年(昭和36)12月10日に開業を迎えました。
Q4	D.登山電車	伊東の海・市街を一望できる露天風呂へは傾斜度45度、距離30mの斜面を登る館内専用登山電車で向かいます。
Q5	D.いるか	伊東市川奈港に隣接する海水浴場「川奈いるか浜公園」は、波穏やかで透明度が高くファミリーに人気の海水浴場です。
Q6	C.発端丈山	伊豆の国市の葛城山に隣接する発端丈山(ほったんじょうやま)は、標高410mの低山ですが、眼下に三津シーパラダイスや淡島が、駿河湾越しに富士山が望める展望地です。
Q7	D.スイカ	「マル平井すいか」のブランド名で親しまれている『函南西瓜』は、昭和58年に函南町の平井地区、大竹地区の出荷組合が統合し、その品種・栽培方法が函南全域に広がったものです。「静岡県東部農林事務所地域の特産品(すいか)函南町」より
Q8	D.伊豆石の利用	伊豆石と呼ばれるものには大きく2種類、伊豆堅石と伊豆軟石があります。どちらも建築物あるいは石蔵などに利用され人の暮らしや産業に欠かせないものでした。
Q9	D.古墳時代	箱根火山が約6万年前に噴火したときの火砕流でできた台地に、古墳時代の人々が掘った県内最大規模の横穴遺跡群(一部国指定史跡)を見ることができます。古墳時代の6世紀末頃から掘られ、奈良時代(8世紀)まで活用されていました。
Q10	A.石灰洞	伊豆半島では石灰洞の存在は知られていません。坑道は土肥金山、室岩洞など、海食洞は堂ヶ島天窓洞、龍宮窟など、溶岩洞は三島風穴、穴の原溶岩洞穴などが知られています。
Q11	C.タウンゼント・ハリス	1856年からアメリカ領事として在任したハリスは、総領事館がある伊豆下田で牛乳が飲みたいと奉行所に願い出ましたが、当時の日本人は牛乳を飲む習慣がなく断られました。あるときハリスが体調を崩した際、牛乳が飲みたいと要望、近隣各所から牛乳を購入し飲んだのが最初だと言われています。 出典:東京の牛乳衛生史 - 130年のあゆみ - 海沼 勝 著 白眉堂
Q12	A.オウムガイ	門田真人氏によって2010年に発表された地質・古生物学に関する文献、「伊豆半島からオウムガイ類アツリア化石の初産出報告」により、伊豆半島から化石が見つかったことが報告されました。このことは、当時の伊豆地塊周辺の古環境(温暖な海であったこと)や、地質学的な移動の歴史を裏付ける重要な証拠となりました。
Q13	C.調	奈良時代の733年に西伊豆田子から当時の税金にあたる「租庸調」の「調」として「荒堅魚(あらかつお)」を平城京に納めたという木簡の記録が見つかり、これが現在の「潮かつお」だとみられています。江戸時代にはかつお節の製法が伝わり、「田子節」として鰹本枯節の三大産地となりましたが、今日に至るまで潮かつおはこの地に根づく伝統食として伝わっています。
Q14	C.90	富士箱根伊豆国立公園は、昭和11(1936)年2月1日に国立公園に指定され、令和8年(2026)年2月1日に90周年を迎えました。伊豆地区が国立公園に編入されたのは、1955年(昭和30年)3月15日のことです。もともと1936年に指定されていた「富士箱根国立公園」に伊豆半島地域が拡張編入されたことで、現在の富士箱根伊豆国立公園へと名称が改称されました。
Q15	A.自然共生	伊豆市修善寺の半経寺山は、令和8年3月末に、環境省が30by30の目標達成に向けて推進する自然共生サイト(OECM)として伊豆半島で初めて認定されました。本認定により、地域の生物多様性保全の拠点として一定の評価を受けることとなることとなります。「30by30」とは、2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。
Q16	C.29	令和8年4月15日に全国で29番目に認定されました。詳細は下記にアップされています。 https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/izuhantou/
Q17	B.サステナブル産品	産品認証制度は大きく2つに分けられます。一つ目は伊豆半島の地質、気候、植生、歴史、製法などと結びついた「特産品」と、二つ目は生物多様性の保全や文化の保全に貢献する「サステナブル産品」があります。下記参照 https://izugeopark.org/certification/
Q18	C.伊勢盛時	伊勢新九郎盛時は1487年、今川氏親より興国寺城を与えられ伊豆斐山へ攻め込む足がかりとした場所として伝わります。沼津市興国寺城ガイドブックより 伊勢盛時の行動を「下剋上」と呼ぶかは議論がありますが、この問題では広く一般的なイメージを優先しています。
Q19	A.弘法大師	沼津市河内(こうち)の堂山にある大杉は、大同年間(806年～810年)弘法大師が修善寺奥ノ院開基の際、この地に来て樹下に虚空蔵菩薩を安置したと伝わっています。 ぬまづの宝100選
Q20	B.60m	名前の由来になった水晶はかつてはここでも採れたといえます。また山の上部には海岸地域で特徴的に見られるウバメガシの群生があります。
Q21	D.ブルーカーボン	海草や海藻などが光合成によりCO2を取り込み、その後海底や深海に蓄積される炭素のことを、ブルーカーボンと呼びます。ちなみにグリーンカーボンは陸上の森林がCO2をその木の中や葉などに蓄積することを指します。
Q22	B.高潮	磯焼け(いそやけ)とは、沿岸の浅い海でコンブやアラムなどの海藻が極端に減少・消失し、岩場が不毛な状態(海の砂漠化)になる現象のことで、魚やアワビ、サザエなどの生息・産卵場所が失われ、沿岸漁業や水産資源に深刻な影響を与えます。
Q23	B.3回目	伊豆半島が最初に世界ジオパーク認定されたのは2018年、再認定が2022年、再々認定が2026年となります。
Q24	C.Mine秋吉台	今年世界認定されたMine秋吉台ジオパークは山口県美祢市にあり、日本最大級のカルスト台地「秋吉台」や「秋芳洞」が有名です。
Q25	C.山	今年のテーマは「山」で、「伊豆の桜とお祝いご飯づくり」、「山菜を摘みながら行く細野高原」、「シカの足跡をたどって」を開催しました。

2026伊豆半島ジオ検定3級 正答と解説

問題	正答	解説
Q26	D.紅サケやホタテを食べる	気候変動対策として生活で出る二酸化炭素の排出を最小にすることが求められていますが、モノの移動が原因で出る二酸化炭素なども減らすためには地産地消が望ましいです。紅サケやホタテなど、伊豆半島では獲れないものなので気候変動対策としては当てはまりません。
Q27	A.0日	気象庁のデータによると、観測開始以来石廊崎で35度以上の気温は2026年8月まで一度も記録されておりません。2004年7月20日に観測された33.9度が過去最高気温のようです。
Q28	A.地形の聖地	西伊豆、松崎町の雲見(くもみ)は、伊豆半島随一、さらには関東・東海圈屈指とも称される「水中洞窟(ケーブ)や迷路状の水路が入り組んだダイナミックな海底地形」が最大の特徴で、陸上から水中にかけての起伏の激しい奇岩、巨石が並んでいる景勝地です。
Q29	D.宇野千代	昭和初期、当時の夫である尾崎士郎が川端康成に誘われて湯ヶ島を訪れたことをきっかけに、宇野千代もたびたび足を運んで長期滞在するようになりました。
Q30	B.川端「伊豆の踊子」	伊豆の踊子の小説は湯ヶ島温泉 湯本館で執筆されました。山あいの静かな静養地で多くの文学者が川端康成に会いに訪れております。(尾崎士郎・宇野千代など)当時、結核療養のため湯ヶ島を訪れていた梶井基次郎は「伊豆の踊子」の校正を手伝ったり囲碁の相手をしていたそうです。
Q31	A.五島列島	単成火山の特徴は1回限りの噴火活動が終わると同じ場所では二度と噴火せず、別の場所で新たな噴火が起きるため、一つ一つの山体はスコリア丘やマールなどの小さな独立峰になります。五島列島には福江火山群という単成火山群があります。
Q32	C.ねこさいの日	ねこさいとは東伊豆町北川の方言で「定置網(根拵網)」を意味します。漁の安全と大漁を祈願したのち、ねこさい広場で地元で獲れた魚介類の炭火焼きが無料で提供されます。
Q33	A.植物プランクトン	夜光虫の正体は植物プランクトンである学名ノクチルカ・シンチランスで、物理的な刺激を受けると青白く発光する性質を持っています。夜には海面が幻想的な青い光に包まれる現象が各地で観測されました。
Q34	D.龍	伊豆山神社に伝わる伝説によれば、走り湯が龍の口、伊豆山の境内が龍の背であるといわれています。
Q35	D.大分県	鹿児島県には旧集成館機械工場他5か所、佐賀県には三重津海軍所跡、岩手県には橋野鉄鉱山があり、大分県には存在しません。
Q36	C.稲取	富士箱根伊豆国立公園は伊豆半島の海岸線及び天城連山の稜線をすべて網羅しているように思えますが、東海岸をみると東伊豆町の稲取岬部分が指定されていません。
Q37	C.アイスランド	アイスランドには2か所の世界ジオパークがあり、カトラ・ジオパークとレイキャネス・ジオパークがあります。
Q38	C.本心	平野啓一郎公式サイト「文学の森ダイジェスト」のなかで「滝も重要なモチーフとして書いてみたいと思っていました。今回は『伊豆の踊子』にも出てくる河津七滝(かわづななだる)に取材に行って、実際にインスピレーションが湧いたんですよ。自然のダイナミズムというも感じるので、動的ですね。」と語っています。
Q39	D.青島温州	静岡県東部を代表する「西浦みかん」は、伊豆半島の西北端に位置した沼津市西浦・内浦・静浦地区で栽培されています。その中でも「寿太郎温州」は、1975年(昭和50年)に沼津市の山田壽太郎氏が「青島温州」の枝変わりとして発見したものです。
Q40	B.沼津	沼津垣は駿河湾に面した沼津に吹く、強い西風と海岸からの砂を防ぐ知恵として江戸時代には盛んに造られてきました。御用邸記念公園内や若山牧水記念館などで見ることができます。
Q41	D.杉鉾別命	主祭神の杉鉾別命(すぎほこわけのみこと)をまつる川津来宮神社では、かつてお酒が大好きな杉鉾別命が、野火に囲まれて眠り込んでしまい危機に陥った際、無数の小鳥たちが羽に水を含ませて飛んできて火を消し、神様の命を救ったという故事にちなみ、氏子は毎年12/18～12/23の6日間は鶏肉、卵、お酒を一切口にしないという変わった風習を続けています。
Q42	A.温泉の湯守	熱川の地質的特徴として、約100度の高温の温泉が自噴しています。その温泉は美肌の湯といわれる一方で、湯の花が付きやすく管理が困難な一面があり、そんな温泉をどうにかして活用しようと、地域全体が試行錯誤を繰り返してきた歴史を持ちます。現在も継続する温泉の管理等の文化的側面が評価され、熱川温泉のジオサイト(文化サイト)登録に至りました。
Q43	B.水先案内人	按針とは磁針や天体測定を用いて船の航路を定め、航海を指揮する職業やその人を指します。ウィリアム・アダムス本人は航海士でもありましたが、按針の本来の意味である水先案内人を正答とします。
Q44	B.80	搬器の定員が多いものから、下田ロープウェイ40人、熱海ロープウェイ31人、伊豆パノラマパーク6人、大室山リフト2人、小室山リフト1人、合計で80人になります。
Q45	B.赤道直径	赤道直径が約1万2756km、子午線直径が約1万2714kmで赤道直径のほうが長い。地球の自転による遠心力で赤道付近が引き延ばされるため赤道直径が長くなります。
Q46	D.有孔虫	大型有孔虫という熱帯や亜熱帯の暖かい海に棲む生物です。約1100万年前の地層から発見され、伊豆半島がプレートとともに南から移動してきた事の証拠となりました。
Q47	D.凝灰岩	河津町沢田付近で産出された沢田石は伊豆軟石の凝灰岩です。きめ細かく緻密な石質ですが、比較的柔らかく加工がしやすいのが特徴です。
Q48	B.5月10日	1876年(明治9年)5月10日に、ライマンらによって日本で初めての広域的な地質図(200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」)が作られたことなどに由来します。
Q49	D.神洞滝	安良里港に注ぐ浜川の上流にある神洞滝は、住民に「お滝さん」の愛称で親しまれています。滝の周辺は滝を中心とした公園になっていて、所要約1時間の神洞滝遊歩道が整備されています。
Q50	B.函館	下田港と一緒に開港したのは北海道の箱館港(現在の函館市)でした。アメリカ船への薪、石炭、食料、水などの必需品を供給するための補給(寄港)が目的となります。